

令和2年度

第11回 阿波市教育委員会定例会会議録

阿波市教育委員会

令和2年度第11回 阿波市教育委員会定例会会議録

1 日 時 令和3年2月24日(水)

開会 午後2時00分

閉会 午後3時25分

2 場 所 阿波市役所 本庁 3階 306会議室

3 出席委員

教 育 長	高 田 稔
教育長職務代理者	森 勝 正
委 員	重 清 由 充
委 員	庄 野 憲 二
委 員	西 渕 利 江

4 会議出席者

教 育 部 長	阿 部 仁 子
教 育 次 長	森 北 博 文
教育次長兼教育総務課長	森 友 邦 明
学 校 教 育 課 長	松 村 栄 治
社 会 教 育 課 長	伊 坂 典 恭
学校給食センター所長	川 人 啓 二
(書記) 教育総務課課長補佐	滑 田 三 美

5 付議事項

- (1) 前回会議録の承認について
- (2) 教育長の報告について
- (3) 阿波市第2次教育振興計画について
- (4) 令和2年度教育委員会一般会計補正予算(第10号)について
- (5) 令和3年度教育委員会一般会計予算について
- (6) 阿波市立幼保連携型大俣認定こども園の開園等に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
- (7) 阿波市公民館条例の一部改正について
- (8) 阿波市教育委員会表彰について
- (9) その他

会議の概要は、次のとおり。

【高田教育長】定例会を開会する旨を告げる。

(1) 前回会議録の承認について

【高田教育長】会議録について何かございますか。

〈質 疑〉

なし

【高田教育長】「前回会議録について」を承認する旨を告げる。

(2) 教育長の報告について

【高田教育長】1月27日から2月24日までの、主だった教育委員会行事について報告。

〈質 疑〉

【庄野委員】徳島新聞のネットニュースの中で、児童生徒のコロナ感染を受けて、県教委による市町村教育長臨時研修会が行われたとあったのですが、感染者が近隣の市町まできているし、そろそろ阿波市も可能性があるのでは、どんなことが話し合われたのですか。

【松村学校教育課長】実際に、学校が臨時休業になったその時にどういうふうな形で対応をしたか。PCR検査が出た後では、そこから学校はどのような準備をするべきか。そういうことを教えてくださいました。

【森委員】学校を休業にするのは、何日間か決まっていなくていいですね。

【松村学校教育課長】決まっております。

【森委員】1、2日で再開したという報道もあるし、4、5日休んだところもあるのではないのでしょうか。

【松村学校教育課長】内容によると思います。

【高田教育長】「教育長の報告について」を了承する旨を告げる。

(3) 阿波市第2次教育振興計画について

【高田教育長】事務局に説明を求める。

【森友教育総務課長】阿波市第2次教育振興計画について説明。

〈質 疑〉

【森委員】18ページの、先月質問させていただいたSDGsの欄ですが、表がありますが、この表は左側の教育施策とか教育目標を考えると、阿波市独

自のものですね。

【森友教育総務課長】そういうことになります。左の方が26の阿波市の施策で、SDGsの17の目標と一致をして関係のあるものを表にしています。この方がわかりやすいということで。

【森委員】この全体のテーマは非常に大事ということは、疑う余地はないと思います。環境問題にしても、いろいろな問題が出てきていますし、資源の枯渇にしても、いろんなことを考えたら、持続可能な開発というのは、本当に真剣に考えていかないといけないテーマだと思います。17のゴールがあって、それぞれについて合計169でしたか……。目標があって……。

【森友教育総務課長】そうです。具体的な目標は。

【森委員】そのターゲットと、この丸を付けている関係が、私自身よくわからないのですが。どういうところで、ここに丸が付いているのか。このSDGsの取組は、国レベルの取組だとか、行政レベルの取組だとか、学校現場での先生方の取組ということで、何かニュアンスが違う気がしますが。これを学校現場で、どの程度児童生徒に指導してもらいたいのかは、別に具体的に示す予定はあるのですか。

【森友教育総務課長】このSDGsと今度の阿波市の26の教育施策を考えながら、今後いろんなことと関係しながら、作文を書いたり、現場に訪問したりしながら、そういうことをしながら教育に役立ていったらと思います。

【森委員】これからまだしていくということですね。

【森友教育総務課長】これから、10年間はSDGsをしないといけないので、それを考えたらこれからのことです。

【森委員】その時に、例えば総合的な学習の時間のように、学校教育目標との関係で目標を押さえたり、このことについては、何年のどの教科のどの単元にするまで踏み込んでいくのか。それとも、この大きな趣旨を理解して、各学校で取り組んでくださいみたいにしていくのか。どこまで踏み込むべきなのか。学校の先生方はどれくらい理解してくれているのか。いろいろ考えますが、はっきりしたことが自分自身もわからなくて、わからないままに質問しています。

【森北教育次長】県教育委員会としては、教職員にそこまで理解して、指導してほしいという願いはあるようです。しかし、現実には、細かな指定はされていません。

【森委員】そこまで示さないと、学校の先生方が取り組むのは、ちょっと難しいのでは。

【森北教育次長】徳島県の振興計画の中には振り分けてしてあります。徳島県

として、ここをポイントに力を入れますというものは作られています。それを、教職員は知った上で世界的な視野で教えていくことが大切です。

【森委員】大きい趣旨からするとしないといけないと思いますが、この具体的な項目についてみると、これどこからきているのか。これ行政の目標でないのか、ピンとつながってくるものがないのですが。

【森北教育次長】関連づけて計画書を出しなさいという決まりはありません。

【森委員】ということは、中途半端に終わるかもわかりませんね。GIGAスクール構想のタブレットの使い方を指導するのも、頭がはちはちしている先生がたくさんいると思います。意外と時間忙しいし、そんなところまでしなさいと言われてたらきついだろうし、かと言ってそれをしないと、する人しない人がバラバラになってしまうだろうし。この扱いは非常に難しいと私自身感じています。

【高田教育長】私も、SDGsとの関連を考える時に、他県のことを参考にしたり、いろいろなご意見をいただきながら丸を付けたということが正直あります。ただ、学校現場においては、今の学びがどの持続可能な開発目標につながっていくかということは、今後意識させていかないといけないと思っています。

【森委員】そのような考え方はわかるのですが、ゴールがあってターゲットがあってここへ結びつくのが、このターゲットは行政の国レベルですることとちがうのか、これ企業レベルでするものとちがうのか、そういうことを考えると、直接ここに結びついてこないところがたくさんあります。

【高田教育長】メディアでも、今こういうことをしていくと小さなことでも、ゆくゆくは大きな問題解決につながっていくことを、学校現場では強調する必要があるのかなとは思っています。そこには、先生がおっしゃるように、教員がもっとふところを深く、そこまで意識した学びにつなげていくことも大切だと思いますが。

【森委員】インターネットでいろいろ調べたら、東京の方では全体計画を立ててこの学年のこのところで扱うところの例が示されているのがありましたので、そこまでいくとしたら、学校が大変だという気がしました。

【庄野委員】感想みたいなものですが、後期計画が5年前に出て、5年間しか経っていないのにさっと見せてもらったら、いろんな新しい文言が出てきています。例えば、超スマート社会とか、先ほど森委員がおっしゃっていた持続可能な開発目標、人生100年時代とか、GIGAスクール構想、コミュニティ・スクールとか、新しい内容がどんどん入ってくるので、担任の先生とか学校は非常に大変な部分がたくさんあると思いますが、これをこなして

いかないと、これからの子どもが将来社会的に自立して生活できるようになっていかないと思います。教育にも、不易と流行の部分があって、不易の部分もこの計画の中にたくさん入っていて、非常によく練られた文章になっていると感じました。これをしっかりしていくと、子どもたちは非常に力が付いていくとまず感じました。目次を見ていてひとつ気がついたのは、前の後期の計画で3章の1-6に学校給食の充実という部分があったのですが、なくなっていますよね。これたぶん、いろいろなところに分配してなくなったのかなと、私自身感じたのですが、食育を基盤とすることが大きなテーマの目標の中にあるので、学校給食とかも非常に大切な部分なので、しっかり教える方にもそれを意識できるようにしていかないと、うやむやに紛れてしまう、そういうことを感じました。それから前にも言わせてもらったのですが、肥満傾向がまだ続いていることです。肥満をなくしていくには、どんなふうに保護者や地域の方に啓発していくかがものすごく大切です。そこらの部分も、先生方もそれから教育委員会の中でも、しっかり頭の中に入れておかないとなかなか課題が解決できていかないと感じました。もうひとつは、不登校問題の中でだいぶいろいろなことが出来てきているのですが、前に西淵委員から、オンライン学習を入れられないかという話がありました。私もどんなにか工夫して入れられないのかなと感じました。それともう一点は、常々言っていますが、今日の新聞に教科担任制が出ていましたよね。教科担任制を取り入れていかないといけないというのが出ていたのですが、阿波市は昔から英語の指導員を入れていますが、担任に英語の力を付けて学級経営をしっかりしていくうえでも、担任がT1になってしていかないといけないということで、全国的にしているのですが、阿波市は昔から英語指導員もいるし、それをもっと活用するのであれば、T1を英語指導員にしていく方が、子どもたちも力もつくし、先生の負担も少なくなるし、そういう方向も考えていくべきでないかと思っています。またそういう方向も頭の隅に入れて考えていっていただけたらと感じました。

【森委員】さっき言い残したことがあるので、2つほどお願いします。1つは、6ページの市の概要のところ、人口の推移で2020年のデータは入っていないのですよね。5年ごとの。ところが後ろの方では、2020年のデータが入っているところが何箇所かあったと思います。9ページです。こっちは2020年のデータが入って人口とかの推移ですから、統計的なのは出ているはずでないのかなという気がしたので、そこらへんがどうなのかなと、それが1点です。もう1点は、文化財のことですが、阿波町林の一等水準点ですが、確か文化財で認められたんですよね。それで、この表に載ってまし

たか。いつの時点でリストに載せるのかなど。石碑とか全部が整った時点でこれにリストアップするのか、会議で決まったらリストアップするのか、そこら辺の基準があれば教えてください。

【森友教育総務課長】6ページの国勢調査に関しましては、今年した分の集計がまだ出来ておりません。なのでここに出せておりません。

【森委員】国勢調査だからですか。

【森友教育総務課長】国勢調査です。

【森委員】市の人口とか、単純なものでないということですね。

【滑田教育総務課長補佐】人口ビジョンは、将来人口推計を阿波市が出しています。それを記載させていただいております。9ページからの子どもの数字は、それぞれの人数がわかりますので、それを基にひろって記載させていただいております。

【森友教育総務課長】出典が学校教育課になっています。6ページは国勢調査です。データが違います。

【森委員】今年21年なので、20年度はもう出ていると思いました。

【伊坂社会教育課長】先ほどの、阿波町の分については、64、65ページに71件が記載されていますには、阿波町の分が5つ入っていますが、この中にはないということになります。文化財として裏付けが出来た時点で、市の認定、県の認定へ順番に上がっていくと思います。

【森委員】県の認定もいるのですか。

【伊坂社会教育課長】ここに載るためには、指定文化財とか指定別に分けないといけないので、おそらく順番があると思います。まず最初に市の認定になって次に県になっていくと思いますが、市にそのような材料が見つかってないと考えています。

【森委員】言い出した方が、正式な指定はまだかとしきりに気にしています。

【伊坂社会教育課長】阿波町の三角点は、持ち主が変わったと思います。土地まで行く道を寄附してもらったり、買ったりしてそこまでたどり着くようなことの整備とか、持ち主が確か変わって、その人に公表をしないとけないとか、そういうことがあったと思います。そこらの整備もまだ追いついていないということになっているので、まだ市の指定にはできないというようなことだったと思います。

【森委員】持ち主が変わったのはだいぶ前に聞いたし、持ち主の了解を得られたから、その審議する会で認められたと。

【伊坂社会教育課長】文化財保護審議会の中では、その話は今年度一回出てきました。

【森委員】認められたと聞いたのですが。

【伊坂社会教育課長】認められていないです。その土地がまだはっきりしていないので。いろいろ不都合なところがあったと思います。

【森委員】進入路とか、そういうものを完備しないとOKは出ないということですか。

【伊坂社会教育課長】見に行く人が、民地なので勝手に入っていくことができませんので、畔の整備をして初めて、ここが三角点であると認められないかぎり、おそらくリストの中に入ってきません。

【森委員】いろいろと制約があるのですね。

【伊坂社会教育課長】私も、文化財保護審議会ですべて認めてそれがあつたということを知って、いろいろ事情があつて、まだ進んでいないと報告しています。だいぶ前からの案件ですね。

【森委員】発起人が、何で行政の仕事はそんなに遅いのかと言つてました。いろいろ制約があるということ、言い出したところにはっきりと伝わっていない。だから言い出した方は、すぐにできると思っているのに、まだできないのかという感じで受け止めていると思います。

【伊坂社会教育課長】その話は、承知しています。

【森委員】これに載っていないのは、それなりの理由があるということですね。

【伊坂社会教育課長】きちんと整備ができていません。

【森委員】そこらの整備もすべて出来た時点で、これにリストアップするということですね。

【伊坂社会教育課長】そうです。

【森委員】わかりました。

【重清委員】今文化財のお話がちょうど出たので、以前に大戸井委員さんの方から話があつたと思いますが、65ページの5年間の方針の中で、文化財ガイドブックの作成に取り組んでいきますと文言がありますが、まだ文化財のガイドブックはないということですか。

【伊坂社会教育課長】大戸井委員さんから話があつたと思いますが、令和3年度に整備して令和4年度に完成に文言を訂正させていただきました。

【重清委員】ありがとうございます。さっき庄野先生からもお話がありました。肥満傾向にある子ども達についても同じく、私も感じるところでございます。引きこもりについてもですが、以前からお話がありますように阿波っ子スクールは、どうしても遠いから来れないというお子さんもいらっしゃるし、引きこもりの数が減っているわけではないので、こういった時にオンラインが活用できれば、子どもたちが学校に行けなくても授業に参加できる形をとれ

るように考えていただきたいと思います。アンケートをいろいろと取ってくださっている中で、満足度として80何%ですが、不満に思っていることに対しての理由として、こういうところをこうしてほしいという希望のようなものは、アンケートでは聞いてないのでしょうか。ただ不満というのが、どのようなことであり、解決策としても案などは意見としてないのかと思いました。

【伊坂社会教育課長】問2で5つ選択になっています。その中で満足している、どちらかと言えば満足・不満、どちらか言うと満足、どちらとも言えない、不満の5つの選択肢しかありません。

【重清委員】どちらかという満足しているは、満足しているだろうと思いますが、不満と思っている人は、何が不満なのか。そこを解決していかないと満足にはならないし、ただアンケートを取って不満は不満のままおいておくのかと、どうしたらいいのかと。それと、29ページですが、家庭や地域との連携・協働とありますが、コロナ禍になるまでは、活発にゲストティーチャーを学校にお呼びし授業をしていただき子どもたちとの交流もありましたし、いろいろな面で地域の方々との交流があったと思います。でも今は、コロナ禍でどうされているのでしょうか。実際授業として、今もゲストティーチャーを交流の場にお呼びしてお話を聞いたりとか、そういう機会はあるのですか。前よりは減っているような気がします。

【森北教育次長】できるだけ三密にならないように配慮しているので、確実に減っています。特にお年寄りの方には遠慮していただいています。

【重清委員】すごくいい試みであったし、子どもたちにとっても学ぶものが多かったと思いますので、こういった中で行うのはどういった解決策があるのかなと思ったり、テレビで見るとか。オンライン学習ではないのですが、とりあえずゲストティーチャーを撮っておいて話を聞いていただくのもあるのでは。いろいろな方法を探っていかなければ、これを中止にしてしまうのでは、子どもの学ぶ機会もなくなってしまうような気がしますので、またお考えいただければありがたいと思います。

【高田教育長】阿波っ子スクールのタブレットの活用は。

【森北教育次長】家にひきこもっている子に関しては、これから考えていけないことと思います。阿波っ子スクールでもタブレットが活用できるよう進めているところです。

【高田教育長】それぞれ在籍している学校がありますので、そのタブレットを活用しなければならないと、私は思っています。

【庄野委員】不登校の子には、タブレットは渡さないのですか。

【森北教育次長】この面に関して、文科省も家で活用するためのマニュアルを作り出したそうです。それを参考にしながら考えていかないとけないと思います。長期休業中も家に持って帰らせることができるかどうか、検討していきたいと考えています。

【西淵委員】病気の長期療養が必要な子とかも、授業を家で聞けたら理想的だと思います。

【森北教育次長】いろいろ課題もあると思います。家庭に高速のW I - F I でなければ、Z O O Mなどの動画を活用しますとかなりのデータ通信量が必要になります。携帯スマホでの通信には無理があるなど、いろいろな課題もあります。

【森委員】どこか忘れたのですが、見ている時にこれって地域、家庭で教育する時に、自治会への加入率もかなり減ってきているし、地域子ども会にはかなり入らないという形で、それが増えてきているとだいぶ前から言われていたと思いますが、今どのぐらいの実態かというのは、どこかでわかりますか。自治会への加入率は。

【庄野委員】大体5年間で、子ども会が5つぐらい減っていますよね。それは地域でも消滅していつているのですかね。子ども会がない地域があります。

【森友教育総務課長】平成28年度は、子ども会は阿波市で69団体、現在は令和元年度で63団体です。これを見ますと6減っています。

【森委員】そこの組織があるとしても、その中で地域の子が100%加入しているか、2割3割減ってきている形になっているのかなど。保護者も、自分の仕事が忙しいからと理由はあるのですが、めんどくさいからとか、親も参加しないといけないのであればやめようという発想が強くて、なかなか地域ぐるみで取り組むことは非常に難しくなりつつあるのかなどと思います。特に自治会も、転入した時に自治会に入りますか、入りませんかと先に言われるようですが、あれは強制的に、その自治会に入るようにはできないのですかね。やっぱり個人の自由というか、そっちを尊重されるべきなのですかね。ごみを捨てるにしても、5軒以上揃わないと、収集場として市の方が認めてくれませんか。ごみを入れるボックスも支給されないところがある。それを考えたら、当然地域の自治会に入るべきかなと思うのですが。この頃の人、そこら辺を考えていない人が増えてきているのではないですかね。そこら辺も、子どもを育てるのに、マイナスの要因として働いてきていると感じます。そうじは自治会に任されています。収集する場所に、金網とかは市からくれますが、その管理については、その自治会とかグループに任せています。そこで順番に当番を決めてそうじをしたりしているのに、自治

会に入っていない人が、ごみを捨てているのを見ると、気分も悪いですよね。

【森友教育総務課長】阿波町で言うと、実行組に入っていない人は、図書館の北に持っていけるようにしています。良く目立つところですよ。

【庄野委員】御所小学校に近いのですが、御所小学校の前はものすごいごみになります。たぶん自治会以外の方が置いていっていると思います。

【高田教育長】たくさんご意見をいただきましてありがとうございます。なお、振興計画は審議会で、答申をいただき、最終決定はこの場でございます。

ここで採決をいただきたいと思います。振興計画がなかなか学校現場の先生方に浸透しないというのは、過去にもありまして、これから機会を見て説明してまいります。委員さんからもお話があったように、実行ある計画にしてまいりたいと思います。採決させていただいてよろしいでしょうか。

【各委員】はい。

【高田教育長】「阿波市第2次教育振興計画について」を了承する旨を告げる。

- (4) 令和2年度教育委員会一般会計補正予算(第10号)について (5) 令和3年度教育委員会一般会計予算について

【高田教育長】事務局に説明を求める。

【阿部教育部長】令和2年度教育委員会一般会計補正予算(第10号)、令和3年度教育委員会一般会計予算について説明。

〈質 疑〉

なし

【高田教育長】「令和2年度教育委員会一般会計補正予算(第10号)について」「令和3年度教育委員会一般会計予算について」を了承する旨を告げる。

- (6) 阿波市立幼保連携型大俣認定こども園の開園等に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

【高田教育長】事務局に説明を求める。

【松村学校教育課長】阿波市立幼保連携型大俣認定こども園の開園等に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について説明。

〈質 疑〉

【庄野委員】1条の幼保連携型大俣認定こども園の後の80人は、これは定員ですか。

【松村学校教育課長】定員です。

【森委員】人口の減少は、別のグラフでありましたが、ここらで止めたいと思っ
ていてもかなり減ってきていますね。

【西淵委員】阿波市の待機児童は、いつかの新聞に1人と出ていました。

【庄野委員】待機児童は、0歳児とかそんなんですか。

【西淵委員】小さい子の受け入れですか。

【庄野委員】なかなか先生が集まらない。

【高田教育長】すみません。その件については。

【西淵委員】子育て支援課ですね。

【庄野委員】地域によったら、なかなか入りにくい。

【高田教育長】希望するところに対しては。最近、小学校区にほとんどできつ
つあるので、ないとは思っています。

【森委員】施設そのもののキャパはありますが、そこで保育士さんとかスタッ
フが足りないと受け入れられないですね。

【庄野委員】0歳児とか、小さい子がなかなかね。

【森委員】小さい子は、一人のスタッフで受け持つ人数が少ないので、スタッ
フの数が多くいるようになりますね。

【高田教育長】「阿波市立幼保連携型大俣認定こども園の開園等に伴う関係条例の整理に
関する条例の制定について」を承認する旨を告げる。

(7) 阿波市公民館条例の一部改正について

【高田教育長】事務局に説明を求める。

【伊坂社会教育課長】阿波市公民館条例の一部改正について説明。

〈質 疑〉

なし

【高田教育長】「阿波市公民館条例の一部改正について」を承認する旨を告げる。

(8) 阿波市教育委員会表彰について

【高田教育長】事務局に説明を求める。

【森友教育総務課長】阿波市教育委員会表彰について説明。

〈質 疑〉

なし

【高田教育長】「阿波市教育委員会表彰について」を承認する旨を告げる。

(9) その他

【高田教育長】委員、事務局に何かあるか尋ねる。

【森北教育次長】「阿波市中学校における文化部活動の在り方に関する方針」(案)について説明

【森友教育総務課長】会計年度任用職員選考試験結果について説明。

【高田教育長】本日の議事が全て終了したので、閉会する旨を告げる。

閉 会

上記のとおり相違ないことを証明します。

令和3年2月24日

教 育 長

教育長職務代理者

委 員

委 員

委 員

教育総務課課長補佐